

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立小松小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度、目標達成には至らなった取り組みがあるが、具体的な取り組みや環境整備を進めることで改善を図っていく。

「安全・安心な教育の推進」に関しては、「いじめはいけないこと」「ルールを守っている」「気持ちのよいあいさつができる」とともに改善傾向にあり、ポジティブフィードバックを中心とした学校全体での取り組みが奏功したものと分析する。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では、体力・運動能力について体育科の授業だけでなく様々な取り組みを実施しているものの効果が上がっていない点が課題であり、視点を変えた新しい取り組みの必要性を感じている。

「学びを支える教育環境の充実」では、目標通りの達成となった。子どもたちの主体性を育むように、学習者用端末の使用方法の工夫や読書への関心を高める工夫を継続していく。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

【校内アンケート前82.56%→後82.08% / 経年調査81.2%】

○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【校内アンケート前88.47→後89.76% / 経年調査90.1%】

○年度末の学校アンケートにおいて、「気持ちのよいあいさつができる」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を78%以上にする。【学校アンケート前74.35%→後77.24%】

学校アンケート「いじめはいけないこと」「学校のきまりを守っている」「あいさつ」は、改善が見られているので、今後も継続した指導をしていく。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。【経年調査39.8%】

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.1ポイント向上させる。

【前年女子51.5点、男子50.6点 / 女子47.5点、男子47.6点】

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における反復横とびの平均の記録を、大阪市平均以上にする。【大阪市平均女子36.7回、男子38.5回 / 女子34.9回、男子35.4回】

校内アンケートにおける「授業では自分の思いや考えを伝えることができていると思いますか」の項目について、最も肯定的な回答をする児童の割合は39.26%と目標を上回ることができた。一方では「思考力の高まりを客観的に評価する方法（ワークシートの開発、相互評価等）を用い、ポジティブフィードバック（PF）を実践する」部分については、具体で統一的な取り組みができなかった。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。【ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く】【平均92.8%】
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。【80%の取得予定】
- 学校アンケートにおける「本を読むのは楽しいと思いますか（新聞を含む）」で肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。【81.7%】

達成状況の評価については妥当である。

- ・学習用端末の活用状況では、目標値を大きく達成し、市内でも上位を位置している
- ・学習参観での学習者用端末を使ったプレゼンテーションも素晴らしかった。
- ・「心の天気」の入力が習慣化され、中学校でも引き続き習慣化されることを期待する。

3 今後の学校園の運営についての意見

学習者用端末を使った児童の学びは、全学年での活用が進んでいる。授業での活用だけでなく、さらなる利用促進に加え学習効果を期待する。今後、学校の取り組みに対し、保護者や地域の理解と連携を大切にしながら、取り組みを続ける。